

——妹の友達の大和撫子メスガキのやんごとなき耳ほじりで俺は敗ける。 台本——

キャラクター:藤原 さくら (12歳くらい)

主人公(聴き手)の妹『もも』の同級生のメスガキ。

眉目秀麗、清廉潔白にしてやんごとなき歴史ある華道の名家のお嬢様。

家元である母親の跡を継ぐべく大和撫子としての教育を施され、自身もそうなりたいと願っているが、思うように振る舞えず悩んでいる。

母親から、大和撫子は男性を立てるものだと教わるが、今ひとつ意味がわからず思案していた。

今回、主人公と二人きりのシチュエーションとなった機会を利用し、主人公に迫る。

一人称は私(わたくし)

【あらすじ】

主人公の妹『もも』の同級生『藤原さくら』が遊びにやって来た。しかし、ももは買い出しに出かけており行き違いに。主人公はさくらに、先に部屋へ上がって待つよう促す。

華道の家元を母に持つさくらは、幼い頃より大和撫子としての英才教育を施され、丁寧な言葉遣いと振る舞いを身に着けていたが、母の様な他者に敬われる存在には遠く及ばないと悩んでいた。大和撫子は殿方を立てるもの、という教えが今一つ理解できないさくらは、今回の機会を利用して男性である主人公とふれあう事で修行になると言い出し、迫る。

困惑する主人公は、耳かきをさせる事でさくらを納得させようとする。

父が母の耳かきでメロメロになっている姿を思い出し、耳かきにヒントを見出したさくらは、意気込んで耳かき棒を手にするのだった。

始めの内はただ丁寧な耳かきをするだけだったが、やがて自身の耳かきで主人公を籠絡できる事を理解すると、攻めの快楽に目覚め始め、最終的に大人の男性を敗けさせる事を殿方を立てるという意味だと曲解してゆく。

【導入パート】※一人称は私(わたくし)

①両耳、通常距離

(深々と頭を下げて挨拶)

お初にお目にかかります。私、もも様の御学友の、藤原さくらと申します。

どうぞお見知り置きください。

あの…もも様は…？

…まあ、お茶とお菓子を買いにおコンビニへ…そんな、私の為に… //

(一瞬出直そうとするが主人公に家に上げてもらう)

ええ、本日はお約束を…ですが、もも様のご不在ですと…よろしいのですか？

はい！ ありがとうございます！ えと、もも様の…お兄…様？

はい♡ ではお言葉に甘えて、お邪魔致します。お兄様 ♪

(ももの部屋にて)

失礼致します。 お兄様、本日は快くお招きくださり、ありがとうございます。

(ここから悩みを打ち明けたす。話し方が変だと思われてないか不安がってる)

え？ 話し方ですか？ お、おかしかったですか？

実は私、お母様が華道の家元なんです。

将来立派な大和撫子になれる様にと、お華や言葉遣いを教わっているんです。

ええ、それでこのような話し方に、もう習慣と言いますか…や、やっぱり変、ですか？

両耳、近距離

(主人公に肯定され気が緩む、目がぱあっとなって膝ですり寄る感じ)

ほ、ホントに？ ありがとうございます // もも様も、そう言ってくださるんです //

学校でも、いつも気兼ねなくお話してくださって、とてもよくして頂いているんです ♪

…う、嬉しい… //

やっぱり、もも様のお兄様ですね…とってもお優しい♡ ありがとうございます♡

②両耳、通常距離

(しゅんとして語りだす)

私、いずれはお母様に認められて、家元を継ぎたいんです。

お母様は、今はお華よりも、まずは大和撫子としての品性を磨きなさいと仰られて…

大和撫子とは、品行方正にして清楚で奥ゆかしく…
そして、殿方を立てるものだとお教えてくださいました。

ですが私、今ひとつピンと来なくて…言葉遣いを真似ても…どうすればお母様の様になれるのか

殿方を立たせるというのも…同級生では皆子供ですし…

(独り言)

そうだ！

両耳、近距離

(食い気味で)

あのっお兄様！ もし、差し支えなければ…

もも様がお戻りになられるまでの間、私にお稽古をつけて頂けませんか！？

はい、お母様の様な立派な大和撫子になるためのお稽古です！

思えば、大人の殿方とこうして二人きりでお話する機会など滅多にございませんし…

私の修行に、お付き合いしてください！ 私、殿方を立てる、というのを学んでみたい…！

(圧倒されて主人公了承、語弊のある言い方を主人公が諫める)

あ、も、申し訳ございません…つい取り乱して…えへへ //

よろしいのですか！？ ありがとうございます //

(エスカレートして危うそうなので主人公が耳かきを取り出す。何かに気づきはっとする)

それでは、何なりと仰ってください！ 私っどんな事でも致しますから！

あ、これは…耳かき…？ こんな事でよろしいのですか？

お耳掃除ならば私、2、3度お父様にして差し上げた事がございます。

いつもはお母様にして頂いておられるのですが、以前に私も……はっ！？

③両耳、近距離

(独り言)

そういえば、お父様はいつも、お母様にお耳掃除をして頂いている時…お顔が安らいで…

厳格な方なのですが、まるで子供の様に…

何と…これは偶然なのでは…今この場で、お兄様は耳かきをお出しになられて…

(ヒントが掴めてワクワクしてる)

ひょっとして、殿方というのは皆様お耳掃除がお好きなのですか？

私も、お母様の様に上手にお耳掃除が出来れば、殿方を立てるという事が理解できるかも！

両耳、通常距離

(床に正座しだしたのでベッドへ腰掛けるよう提案)

それでは、お膝枕を致しましょう。

ええ、存じておりますよ？ 耳かきは膝枕でするものだからということくらいは…

え、ベッドですか？ 正座だと足が痛むから…あ、ありがとうございます // ホントにお優しい… //

では、お言葉に甘えて…よいしょと…はい、お兄様…私のお膝枕へ、ど、どうぞ //

【右耳かきパート】※おっかなびっくり耳かきして、徐々に攻めを理解するパート。

④右耳、近距離

(髪の毛がくすぐったくて驚く、緊張している)

んっひゃっ // も、申し訳ありませんお兄様…少しくすぐったくて、つい…えへへ //

と、殿方のお顔が近くて…少し、恥ずかしいです… //

あ、凄い…耳かきの道具が沢山…お兄様、耳かきお好きなんですね…

はい、それでは…まずはお兄様のお耳の穴を覗いて、耳垢の具合を確認致しますね？

右耳、超近距離囁き声

(耳穴を覗き込んで、汚さに戦慄)

し、失礼致します…ん～…んう？ ひっ…これは…何ですか？ こんなに、薄汚い…あついえっ
な、なかなかの汚れ具合です…お兄様…ご自分では、お掃除はなさらないのですか？

右耳、近距離

(浅め耳かき。まだ緊張してなので慎重そうに。擬音ゆっくり目)

そ、それでは…まずは浅めから…お耳の中…し、失礼致しますね？

ん…ん…あ……ん、あっ…す、凄いですお兄様…次々と掻き出されていきます。

え？ 祇園…お祭り？ あ、擬音ですか？ は、はい…

えと…こ、こしょ、こしょ…こ、こしょ…あの、いかがですか？ は、はい // 続けますね？

こしょ、こしょ…こしょこしょ…あ、こちょこちょもですか？ かしこまりました。

こちょこちょ…こちょこちょ…こしょ、こしょ、こしょ、こしょ…こちょこちょ、こちょこちょ…こちょっ…

(半信半疑だったが主人公が気持ち良さそうなので少し安心)

うーん、これで本当によろしいのでしょうか…あ、でもお兄様、お顔が緩んで…っ //

ん、少しだけ…奥に差し込みますね？ 動かないで…

はい…ここに…塊が…んっ…えいっ♡ はい、取れました♪ 大きな耳垢が、ごろりと…

まだ浅い所が痒いのですか？

本来なら耳壁(みみかべ)を執拗に掻きむしるのは危険なのですがけれど…

痒いまま放置するのはお辛いでしょうから…

⑤右耳、超近距離囁き声
(高速耳かき。擬音高速)

大丈夫、おまかせください。あの、動かないでくださいね？

そーっと…痒そうな所を…さじの部分で…搔き上げて参ります。

ん…んしょ…あっつけませんお兄様、我慢ですよ？

ん…しょ…小刻みに…ん、こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ…

あ、ここですか？ 痒い所があったら、ご遠慮なく仰ってくださいね？

かきかきかきかきかきかきかきかきかき…

こちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょ…

あ、こちら側ですか？ かきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき

は、はい…浅めはしっかりと綺麗になりました //

(耳穴を覗き込んでぼそぼそと話す)

んー？ やはり、私の読みは合っていたみたいです…

お耳穴をカキカキされているお兄様のお顔は、お父様と同じで…どこか、呆けているというか…

右耳、近距離

(主人公が囁きに反応し多のを見て不思議がる)

お兄様？ どうかなさったのですか？ …近い？

私が耳元で囁くと、震えてしまうのですか？

耳垢がある程度取り除けて、お耳が敏感になって来たのでしょうか…ん、と…

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(耳元囁き、息が当たるくらい。)

こ…こしょこしょ…こしょこしょこしょこしょっ…っ！ っ！ ピクピクって…クス //

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ、こーしょ、こーしょ…こしょこしょこしょこしょっ♡

あっ、も、申し訳ございませんっ…つい楽しくて…えへへ //

お耳壁が少し赤くなって…お兄様、失礼致しますね？ はー…ふう～ (3秒)

⑥右耳、近距離

(耳ふーで主人公がビクッとしたので反射的に離れる)

イヤっ // お兄様、大丈夫ですか！？ お体がビクンと…

へ？ クスッ♡ なあんだ、これも気持ちよかったのですね♡ フフフ♡
耳壁の冷却ついでに、細かい耳垢も飛ばしちゃいますね？

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(おそろおそろ煽ってみる)

はー…ふう～♡ (5秒) あん、ダメですよ？ どうか我慢なさってください。

その…と、殿方…なのですから… //

はー…ふう～♡ (5秒) はー…ふう～♡ (7秒)

右耳、近距離

(奥耳かき、擬音ゆっくり目、慎重そうに)

はい、それでは…奥の耳垢を…細めの耳かき棒で掻き出して参りますね？

動かないでください…そーっと…はい、奥まで挿し込みました //

少しずつ…動かして…ん…ん…奥の、塊を…掻き、崩して…んっ // あっ…ん…
気持ちいいですか？ お兄様。

(喋りながら耳かき)

はい、ありがとうございます // 私、小さいころからお華のお稽古を続けておりますので…ん…

手先は…んっ…器用な方…かと…しょっ…

あ、すみません // 擬音、すっかり忘れておりました // ん…かき、かき…こり、こり…

フフ、耳かきに掛け声が欲しいなんて…お兄様って、意外と子供っぽい所がおありなんですね♡

耳元がよろしいですか？ はい、かしこまりました♡

右耳、超近距離囁き声

ん…こり、こり…こりこりこり…ん、かりかりと…掻き崩し…てっ…しょっ…っと //

崩れた耳垢を…ほじ、ほじ…ほじり出して…ん //

しょっ、んしょっ…ほじ、ほじ…ほじほじ…ほりほり、ほりりっ♡ んー…ん、あ…ん、ん…よし…

⑦右耳、超近距離囁き声

(慣れてきて自信が付き始める。擬音ゆっくり目)

もう少し…奥に…滑らせて…あっ、怖いですか？ フフ、大丈夫…痛くしませんから♡

ん…ちょい、ちょい…こりこりっ、こりこりっ…ほり、ほり…ほじほじほじっ♡ ほじほじほちほちほち♡

右耳、近距離

はい、取れました。ね？ 痛くなかったでしょう？ フフ♡ お兄様ったら、本当に子供みたい //

え？ 奥もかきかきですか？ で、ですが…奥を素早く掻き上げるのは少々危険が伴うかと…

え、ど、どうしてもって…そんな、駄々っ子みたいに…

わ、わかりました…痛かったら、すぐに言ってくださいね？

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(高速奥かき、擬音高速。)

そーっと…ん……ほじほじほじほz…んひゃっ！？ え？ 続けてって…だって今ビクビクって…

痛くないのですか？ わ、わかりました…では、傷つけないよう、集中致しますね…

ん、ほじほじほじほじ…ん…ほじほじほじほじほじほじほじほじ…

こりこりこりこりこりこりこりこり…ほりほりほりほりほりほりほりほりほりほじほじほじほじほじ…

ん…ほじほじほじほじほじほじほじほじほじほじほじほじ…ほちほちほちほちほちほちほちほち…

ふう…ご、ご満足いただけましたか？

(耳穴を覗いて)

あっいけない…やっぱお耳奥が赤く…今、冷ましますから //

はー…ふう～ (3秒) はー…ふう～～ (5秒) はー…ふ、ふふう～～ (7秒)

右耳、近距離

あの、いかがですか？

え？ また痒くなってきた？ そ、そんな…どうでしょう…

耳かき棒では、これ以上はやりすぎですし…

⑧右耳、近距離

(初めて見る耳ブラシに困惑するも謎の納得)

へ？ 何ですかこれ…ひっ！？ こ、こんなイガイガの…あ、ゴム製のブラシ…？

この様な道具、お母様はお使いになっておられませんでした…

お母様も知らない耳かき…それを私が…きっと大和撫子になる為の秘密が…ごくり！

こ、これで…お耳穴の中を、ぞりぞりと掻きなぞればよろしいのですか？

はい、では…失礼致します…

(耳ブラシ、擬音ゆっくり目、おそろおそろする感じで)

回転させながら…ブラシを、お耳の中に…んっ…あっ //

じょろじょろと音が…ん // ゆっくりと抜き差しして…ぞり、ぞり、ぞり、ぞり…ぞこ、ぞこ、ぞこ //

くるくるですか？ は、はい…くる、くる…くる、くるくる…くる、くる

ほ、本当によろしいのでしょうか…あ…え、だ、だって…この様なトゲトゲの物をお耳にズコズコと…

ビクビクとされておりますけれど…気持ち良いというより…お辛くて悶えている様な…

これではまるで、私がお兄様の事を、その…虐めているみたいで…少し気が引けます…

ん、よいしょ…ぞり、ぞり…そろ、そろ…じゅこじゅこ、じゅこじゅこ…ずこずこずこずこ…

(攻められて喜ぶ主人公にさらに困惑、敗けさせる事を理解し始める)

あの、お辛くありませんか？ へ？ も、もっと…ビクビクさせて欲しい…のですか？

ビクビクさせられるのが、お好きなんですか？

そ、そうなのですか？ 虐められて喜ぶなんて……私…殿方のこの様なお姿、初めて見ました //

お父様も、お母様と二人の時は、この様な感じなののでしょうか…まさかそんな…うーん…

ですが、お兄様のその表情…まるで懇願するかのような目つき…応えて差し上げたいです //

(独り言)

こ、これが…殿方を立てる…という事、なののでしょうか…お母様…

わ、わかりました…では…このイガイガを、お耳穴に…ね、ねじ込ませて頂いて…

素早く小刻みに掻きなぞって参りますね？

⑨右耳、超近距離囁き声
(高速ブラシ、擬音高速)

ん…あっあっ // 凄いですお兄様…ぞりぞりぞりぞりぞこぞこぞこぞこ //

やはり私、心配です…刺激が強すぎるのではないかと…

右耳、近距離

ん？ 何ですこれ？ お耳用…ろーしょん？ 薬液でしょうか…成程…

これをブラシにつければ、じゅこじゅこしても刺激がやわらぎそうですね。

んしょ…まあ、随分とろりとしておりますね…よし、と。 では、お耳奥、失礼致します…

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー
(高速ローションブラシ、擬音高速)

んっ // ひっ // ああ凄っ // じゅぷじゅぷと音が // 気持ちいいですか？

じゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅふじゅふじゅふじゅふじゅふじゅふじゅふじゅふ

じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼちゅぼちゅぼちゅぼちゅぼちゅぼずぼずぼずぼずぼじゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ

お、お兄様？ 大丈夫ですか？ いけない…お耳の中がべとべとに…

はー…ふう～ (3秒) はー…ふう～～ (5秒) はー…ふう～～～ (7秒)

(主人公の反応が無くテンパる)

お兄様？ も、もしやお亡くなりにな…！？ え、と…

ふっ (1秒) あ、気が付きましたか？

えと、お耳奥のろーしょんを…乾かそうとしたのですが…

ひんやり気持ちよくて、気絶しかけた…？ なあんだ…もう、脅かさないでくださいまし…

右耳、近距離
(ばかばかしくて涙目)

ぷっ…くくく♡ ホントだ、よく見たら、お耳真っ赤ですね♡

こんなに分かりやすく反応されては…疑いの余地はありません…

どうやら本当に、気持ちよくなられているのですね…良かった、私安心致しました //

⑩右耳、近距離

(この辺りからナチュラルに煽り始める。まだ怒られると思って遠慮がち)
ですが…その、冷静になってみると…

大人の殿方が私の様な子供の耳かきでビクビクと震えてしまうお姿というのは…

何というか…少し、いえ、かなり…滑稽…いえ、な、情けない…です //

(どMの感性が未だわからず困惑)

ああっ！ 申し訳ございませんお兄様っ、私ったらつい本当の事を…

へ？ あの、怒ってない…です？ え、も、もって言っていい？ ???

そ、そんな…はしたないです //

(ちょっと焦り気味に次へ。綿棒、擬音ゆっくり目)

さ、さあ…それでは、綿棒で残りのろーしょんを拭き取ってしましましょう //

乾いた綿棒で、最初はお耳の浅い所から…ん…

すり、すり…こしこし…拭き取って…こおし、こおし…すりすり、すりすり…

はい、綿棒なら柔らかいですから、お耳壁を傷つける事ありません♡

ん、ん…こし、こし…フフ、お兄様ったら…お顔がとろんとして、とっても可愛らしいです♡

では、奥まで滑らせて…つつーっと…ん、んしょっ…あっフフフ♡ 奥のここ、気持ちいいですか？

ん…ん…お兄様は、奥をぐりぐりされるのがお好きなんですね…

(ちょっと攻めてみようと思い一息コホン)

ん、コホン…

ほらほら、お兄様？ 奥、ぐりぐり致しましょうか？ んー？

ぐり、ぐり…ぐーりぐーり…ぐりぐり…ぐりぐりぐりぐり…

こちらの壁も…ずり、ずり…ずり、ずりずーり…んー？ ここ？ こちらですか？

敏感なお耳壁は…どちらでしょうか…？ フフ♡

性懲りもなくビクビクと…一向に成長が見受けられませんね…

いくつになっても、物覚えの悪い子供の様な…その…は、恥ずかしい殿方ですっ //

そっそれに、先程から感じておりましたけれど…ずーっと鼻息が荒くなっておられますよ♡

⑪右耳、近距離

(煽ってもいいんだと分かってこの辺から強気)

まるで…そう…学校で見た、防犯教材に出てくる…へ、変態の様です…

お兄様って、変態だったのですね…私、聞いたことがございます。

少女に興奮する犯罪者の事を、ろ、ろりこん？ と言うのでしょうか？

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(高速綿棒、擬音高速)

変態のろりこん様の為に、奥を素早くこすって差し上げますね♡

こしこしこしこしこしこしこしこし、こしこしこしこしこしこしこしこし♡

くりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくり、こしこしこしこしこしこしこしこし♡

いきますよ？ はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(5秒)

フフ、しっかり乾かしますね？

はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(7秒) はー…ふう～♡(7秒)

ふっ♡(1秒) はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(5秒)

フフ、素早いので、お好きですね♡

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(5秒) はー…ふう～♡(3秒)

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(5秒) ふっ♡(1秒)

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(5秒)

はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(7秒) はー…ふう～♡(7秒)

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(7秒) ふーっ♡(1秒)

右耳、近距離

(梵天、擬音ゆっくり目)

それでは、最後はふわふわの梵天で仕上げに致しましょう…

そわ、そわ…さわ、さわ…ふわふわで、お耳の穴の周りを…つつーっと♡

中に入れて…ずぼぼっと…すぼすぼ、そぷそぷそぼそぼ…

お耳奥も…なでなでなでなで♡ くるくるくるくる♡

**⑫右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー
(高速梵天、擬音高速)**

ではこちらも…すぽすぽすぽすぽすぽすぽすぽすぽつぽつぽつぽつぽ♡

はー…ふう～♡ (3 秒)

はー…ふう～～♡ (5秒)

右耳、近距離

(ちょっと独り言っぽく分析)

何度お耳に息を吹きかけても、毎度同じ反応…

お兄様のお耳には、こらえ性というか…学習能力がございませんの？

お母様の様な大人の女性にならともかく、子供相手にも情けないお姿を晒してしまうなんて…

私…殿方を立てる…というのが、今ひとつ…わかりかねておりましたけれど…

少しだけ、握めてきた気がします。

さ、こちら側はお終いです。お兄様、頭をこちらにお向けください♡

【左耳かきパート】※完全に慣れて、主人公の癖を理解し煽りまくるパート

⑬左耳、近距離

(髪の毛ぐりぐりでくすぐったい。すっかり慣れて罵倒もお手の物)

んっ // んふっ // もうっ！ お兄様ったら、わざと頭をぐりぐりと押し付けて…んひっ //

私の様な子供のお膝に執着なさるなんて…殿方としても、大人としても不適切です！

思えば、始めに耳かき棒をお出しになられた時から、こうされるのがお望みだったのですね？

やれやれ、本当にろりこんで変態の犯罪者予備軍、変質者の類でしたとは…

お兄様の様ないかがわしい殿方には、罰として、お耳穴をほじほどじさせていただきます♡

左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(楽しくなってきて自分でもおかしくて笑っちゃう)

覚悟してくださいね♡ はー…ふう〜♡ (3秒)

くっくくっ…何でしょうコレ…へ、変な感覚です //

本来は、罵倒なんて、淑女としてはしない行為の筈なのに…

お兄様を罵倒して差し上げる言葉が、不思議な程するすると浮かんで…癖になりそうです♡

左耳、近距離

(浅め耳かき、擬音ゆっくり目)

では、耳かき棒、お耳穴に挿し込んで参りますね？ まずは浅めの耳垢を…

ん…んしよ…こしよ、こしよ…こしよこしよ…こちよこちよ、こちよこちよ…

こちよこちよ、こちよこちよ…かきかき、かきかき…かーき、かーき…かきかきかきかき…

フフ、ずっとお預けされていた分、こちらの耳垢のほうが素直ですね…

いっぱいほじほじして一って、お耳穴が差し出してきているみたいです♡

痒い所も一緒に…ん、かり、かり…こしよ、こしよ…っと♡

それでは、素早くかきかきさせていただきますね…動かないで…

フフっあぁっいけませんお兄様っ、ビクビクは禁止ですよ。

⑭左耳、超近距離囁き声

(突然お腹の匂いを嗅がれ困惑&呆れ。高速耳かき、擬音高速)

はい、いい子ですね♡ そのままそのまま…って今度は鼻息が…お兄様？

嫌ッ // お腹が、熱い…んっ // もしや、私のお腹の匂いを嗅いでらっしゃるのですか！？

いくらビクビクを我慢する為とはいえ、それは…んっ //

もう、す、少しだけですよ？ この変態…

かきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき♡

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ、こちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょ

(耳穴チェック)

んー？ はい、結構です♡

左耳、近距離

(奥かき、擬音ゆっくり目)

それでは、続いて、奥の方まで耳かき棒を滑り込ませて、固まった耳垢を崩し取って参ります。

動かないでくださいね…そーっと…

ん、ん…こり、こり…こりこり…ちょいちょいっと…少しずつ…崩しながら…ん //

掻き出して…ほじ、ほじ…ほじ、ほじ…ん、あ…ほじほじ、ほりほり…コリコリコリ…

とっても…ほじり甲斐のある…お耳です♡

こおんな、に…耳垢を沢山、溜め込んで…ほりほりっ…いけないお耳穴ですね♡

左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(耳穴を覗き込んで不意打ち耳ふー)

んー？ はー…ふう〜♡ (3秒)

ああもう折角上手に我慢出来ておられましたのに…

ちょっと油断するとすぐにビクビクと…だらしないですよ♡

では、お耳奥の痒い所も、素早く掻きほじって差し上げますね♡

今度はみっともなくビクつかないように、お耳に気合をお入れください♡

⑮左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー
(高速奥かき、擬音高速)

そーっと…ん…ほじほじほじほじほじほじほじほじ、ほじほじほじほじほじほじほじほじ♡

フフ、痒そうな所を…コリコリコリコリコリコリコリほじほじほじほじほじほじほじ♡

はー…ふう～♡(3秒) はー…ふう～♡(5秒) ふっふっふう～♡(5秒)

よく我慢できました。いい子いい子♡

左耳、近距離
(耳ブラシ、擬音ゆっくり目)

フフフ、子供扱いされても、ちーっとも怒らないんですね♡ お兄様、殿方失格ですね♡

ではお兄様…いよいよお耳ブラシですよ？

私、今度は遠慮は致しませんので、どれだけ気持ちよくても気絶なさらないように…

そーれ、イガイガを回転させながら…弱々お耳穴様に、お邪魔致しますね～…♡

じょーろ、じょーろ…ぞり、ぞり、ぞり、ぞり…じゅーろじゅーろ…

お耳壁のムズムズ、気持ちいいですか？ フフ、いっぱいぞりぞりしますからね♡

ん、んしょ…ぞこぞこぞこぞこ…じゅこじゅこじゅこじゅこ…

お耳用ろーしょんをつけますね、よいしょっと…はあい…奥まで…ぐっぽり…ねじ込んで♡

イヤっ// 肩がぶるっと// 動かしますよ？ よろしいですか？

ん…にゅこにゅこ…じょろじょろ…回転させて…じゅろじゅろじゅろじゅろ♡

左耳、超近距離囁き声
(ブラシ高速、擬音高速)

…いきますよ？

じゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ

じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽずぽずぽずぽずぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ

あっ、あっあっあっ// いけませんお兄様、我慢ですよ？

ちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽ、

ちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽ♡

⑩左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

クス♡ あらあら、なんてだらしないお顔…ふっ♡(1秒) クス♡

はー…ふう～♡(3秒)

はー…ふう～♡(5秒)

左耳、近距離

(煽りながらぞくぞくしてる感じで)

大人の殿方のくせに、私の様な子供のお耳掃除でビクビクと狼狽えて、とっても情けないです♡

ですが、そんな恥ずかしいお姿も素敵ですよ？

今は、私とお兄様の二人きりですから、どうぞご遠慮なく…

(ここだけ超近距離囁き)

私に情けないお顔をお見せくださいね♡

(綿棒、擬音ゆっくり目)

さ、それでは、べとべとになってしまったお耳穴を、綿棒で拭き取りましょうか。

乾いた綿棒で…耳穴浅めを拭いて参ります。

ん、んしょ…ん…しっかりと…ろーしょんを拭き取って…ん…

こし、こし…こし、こし…すりすりすりすり…ん、ん…くし、くし…

綿棒の反対側で…こおし…すりすりすりすり…こしこしこしこし…こし、こし…

新しい綿棒を…奥まで挿し込んで…ぐーり…ぐーり…

奥の濡れた所を…ぐりぐりしていきますね♡ ん、んしょ…ぐり、ぐり…ぐりぐり、うりうり…ぐり♡

私、もう手は止めませんよ？

お兄様の軟弱にいちいちお付き合いしておりましたら、日が暮れてしまいますから…

それぞれ、ぐーりぐーり、ぐりぐりぐりぐり、ごしごしごしごし…

(やんごとなきメスガキ煽り)

お兄様がこれほど軟弱な殿方だったなんて、先程初めてお会いした時は、もっと頼もしそうな方に見えたのに…これは…そう！

同級生の男の子達がよく、弱い相手を指して言う…雑魚。 ですね♡

お兄様のお耳穴…いえ、お兄様は、子供にも勝てない程の雑魚…クソ雑魚でございます♡

⑪左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

(高速綿棒、擬音高速)

雑魚お兄様の雑魚お耳壁、お好きなだけこすって差し上げますね♡

こしこしこしこしこしこしこしこし、こしこしこしこしこしこしこしこし♡

ずりずりずりずりずりずりずりずり、くりくりくりくりくりくりくり♡

こしこしこしこし、こしこしこしこし、こしこしこしこしこしこしこし♡

はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(5秒)

もう眠いですか？ 子供どころか、赤ちゃんの様に無防備になっていますよ？

はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(7秒) はー…ふう～♡(7秒)

はー…ふっ♡(1秒) はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(5秒)

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(5秒) はー…ふう～♡(3秒)

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(5秒) ふっ♡(1秒)

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(5秒)

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(7秒) ふーっ♡(1秒)

左耳、近距離

(聴き手が寝かけているので、静かに話す。それでいて嬉しそうに)

はっ、私ったらいけない…

お耳の周りも真っ赤…冷ますつもりが、かえって火照らせてしまいました…クスっ♡

私、確信致しました…どんなに厳しいお人柄であっても、殿方は時として、女性に虐げられたり、

甘やかされたり、つまり…手玉に取られたい時があるのだと…

そして、殿方を立てる、という事は、その様な悩める殿方の情けない願望を察し叶えて差し上げる事だったのですね…♡

だからこそお母様は、お父様は勿論、多くの殿方に憧れられる存在だったのです♡

私、真髄を得ました♡

これも全て、お兄様が私に、情けない本性とふしだらな欲望をさらけ出し、

身を挺してご教授下さったお陰です♡

⑱左耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふー

ありがとうございます…お兄、いえ…雑魚お兄様♡

はー…ふう～～～～♡(10秒)

左耳、近距離

(梵天に入る際の台詞と、終わった後の台詞。)

ではこのまま、仕上げの梵天に入ります…

そのまま、薄れゆく意識の中で、ふわふわの感触をお楽しみ下さい♡

フフ、お休みなさい♡

【その他】

⑱ 右耳、超近距離囁き声 (YouTube 用 OP)

サークル、でぶり♡

両耳、近距離 (YouTube 用 ED)

お疲れ様でした。いかがでしたでしょうか？
また、私のお稽古にお付き合いしてください…ね？

クソ雑魚お兄様♡

右耳、近距離 (耳かき中に挿入する息遣い)

すーはーという自然な呼吸の中に、時々『あ…ん…』といった声がもれるもの (120 秒)